

# DECISION

Protest

Request No.: 13

Heard Jointly With Number(s): 11

Event: 第88回 全日本学生ヨット選手権大会(団体戦) 88th ALL Japan Int-College Sailing Champs. Race Number: 3  
Hearing Schedule: 2023-11-03 17:40

## PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 13: 国際スナイブ級 - JPN 31873 - 61 - 九州大学

国際スナイブ級 - JPN 31887 - 10 - 日本大学

Request No.: 11: 国際スナイブ級 - JPN 31634 - 52 - 大阪大学 Karen Azuchi

国際スナイブ級 - JPN 31873 - 61 - 九州大学

## VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Beyond Time Limit Case13は締切時刻を過ぎて提出された。Case11は締切時刻内に提出された。

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** N/A

**Red Flag Displayed:** N/A

**Decision:** Request Invalid Case11はSI1.3に定められている要件を満たしていない。

## PROCEDURAL MATTERS

61の代表者として鈴木英心氏、10の代表者として角田一瑳氏、52の代表者として堀場亮佑氏が出席した。

安土花恋氏(52のスキッパー)は、オブザーバーとして審問に出席した。

審問番号11と13は密接に関連したインシデントであったため、両審問はRRS 63.2 に従って審問番号13として同時に行った。

本大会のSI1.3には、次のとおり規定されている。

『RRS61.1(a)に以下を追加する。

「レース・エリアで起きたインシデントについては、抗議する艇はフィニッシュ後直ちにフィニッシュ・ラインに位置するB旗を掲げたレース委員会艇に抗議の意思を伝えなければならない。艇がリタイアした場合、最初の妥当な機会にレース委員会またはプロテスト委員会に抗議の意思を伝えなければならない」』

フィニッシュ・ラインに位置するレース委員会艇は、最終艇がフィニッシュしてレースが終了した(15:15:10)後、15:21にB旗を降下した。

52は47位でフィニッシュ後、いったんシグナルポートに向かって帆走し、その後、引き返してフィニッシュ・ライン付近にいたレース委員会艇(すでにB旗を降下していた)に抗議の意思を伝えたため、SI1.3に定められた要件を満たしていない。

61による抗議は、RRS 61.3で求められている抗議締切時刻までに、もっともな理由なくレース・オフィスに提出されなかった。

## FACTS FOUND

**Diagram:** Diagram not endorsed

## CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

**Rules:**

## DECISION

Case11及びCase13共に抗議は無効である。RRS 63.5に基づいて審問を打ち切る。

**Date & Time:** 2023-11-03 18:20 JST

## PROTEST COMMITTEE

**Committee Type** Protest Committee

**Chaired By:** Yunta Takano (JPN)

**Committee Members:** Keiji Kato (JPN), Masanori Toyohara (JPN), Kunihiko Masaki (JPN), Sou Asahara (JPN)